

1. 概況

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大による影響を大きく受けた1年だった。感染予防のために入学式の延期や授業時間の短縮などの対応を行った。(各校の取組は別紙参照)
この結果、幸いにして感染者を一人も出すことなく年度を終了することができた。
- ② 東京校の2コースが、社会人の学びなおしを支援するための「専門実践教育訓練給付金」の講座指定を受けた。(埼玉校は前年度に既に指定を受けている)
- ③ 文部科学大臣による高等教育の修学支援新制度(高等教育無償化)の対象校として前年度同様、両校共に埼玉県、東京都より認定を受けた。(令和2年9月30日付)なお、本年度、同制度により授業料等の減免措置を受けた学生は、埼玉校で9名、東京校で5名であった。
- ④ 両校共に就職希望者への就職活動に力を注いだ結果、東京校はほぼ順調に就職先を決定することができた。一方、埼玉校は内定率がcaろうじて90%を超える状況となり、コロナ禍における就職指導の在り方を再検討する必要性が生じている。
- ⑤ 令和3年度新入学生の募集活動においては、新型コロナウイルスの影響によって来校型の体験入学を一時期中止するなどの措置を講じざるを得なかった。
- ⑥ 新入生の内、埼玉校で3名の学生が、東京校で7名の学生が退学した。コロナ禍における精神的なケアを含めた学生指導のあり方を再検討する必要性が生じている。

2. テクノ・ホルティ園芸専門学校(埼玉校)の状況

- ① 新型コロナウイルス感染拡大の影響により授業開始が6月となったが、夏季休業期間の短縮等により、例年通りの授業回数を確保した。この際、短縮授業、イベントの中止や縮小、スクールバスの増便などにより感染防止に努めた。(詳細別紙)
- ② 卒業生35名中、園芸業界への就職希望者は33名。この内、就職決定者は30名となった。
- ③ 令和3年度の入学予定者は47名となり、極めて厳しい状況である。
- ④ 「農業次世代人材投資事業」(農林水産省)で認定を受けていた2年次生2名は、両名とも雇用就農した。また、1年次生2名が新たに認定を受けた。
- ⑤ コロナ禍の影響で試験が延期、中止されるなどの影響があったものの、資格取得に一定の成果を上げることができた。

・造園技能士	2級	4名合格(4名受検)	100%
	3級	13名合格(13名受検)	100%
・フラワー装飾技能士	2級	22名合格(23名受検)	96%
	3級	8名合格(8名受検)	100%
・商品装飾展示技能士	3級	8名合格(8名受検)	100%
・日本農業技術検定	2級	1名合格(1名受検)	100%
	3級	6名合格(7名受検)	86%
・POP広告クリエイター		8名合格(8名受検)	100%
・色彩検定	3級	8名合格(9名受検)	89%
	3級	12名合格(14名受検)	86%

公益社団法人色彩検定協会より奨励賞が授与された

・リテールマーケティング(販売士)	3級	4名合格(5名受検)	80%
・土壌医検定	3級	3名合格(3名受検)	100%

なお、コロナ禍の影響により、園芸装飾技能士は中止となった。

- 第 58 回技能五輪全国大会(愛知)のフラワー装飾部門に、埼玉県代表として 2 名が出場した。
- ⑥ 地域と連携したいくつかの行事に参加した。
 - ・埼玉県委託「夢を見つける！ リアル体験教室」：小学生対象のフラワーデザイン教室
 - ・特別養護老人ホームの植物の装飾・管理、季節のフラワー装飾、花壇作成
 - ・行田市が主催する「花手水 week」に参画して、市内の神社などの手水鉢を花で満たす試みに協力している
 - ・行田市の施設やイベントで農場生産物や商品を定期的に販売している
 - ・行田市内公園の花壇植栽、管理
- ⑦ 企業から委託を受けて、次の事業を実施した。
 - ・農薬・肥料の製造・販売会社が新たに開発した農薬の葉害試験を行った
 - ・園芸用品の製造・販売会社が新たに開発した資材の使用感などの試験を行った
 - ・結婚式会場で行われる実際の結婚式のフラワー装飾を行った
- ⑧ 職業訓練
 - ・埼玉県 就職支援訓練（委託訓練）「生花店・園芸店スタッフ養成」
 - 6 月開講 3 ヶ月訓練 受講生 12 名
 - 1 月開講 3 ヶ月訓練 受講生 10 名

3. 東京テクノ・ホルティ園芸専門学校の状況

- ① 新型コロナウイルス感染拡大の影響により授業開始が 5 月末となったが、リモート授業の導入や夏季休業期間の短縮等により、無事に予定していた授業を実施することができた。(詳細別紙)
- ② 卒業生 38 名中、フラワー・園芸業界への就職を希望していた 37 名のうち 36 名が就職決定した。就職未定者 1 名に対しては引き続き指導を続けている。
- ③ 令和 3 年度の入学予定者は 34 名と厳しい状況である。
- ④ 本年度も資格の取得やコンテストへの出展を奨励した。

・フラワー装飾技能士	2 級	3 名合格	(3 名受検)	100%
	3 級	23 名合格	(23 名受検)	100%
・リテールマーケティング(販売士)	3 級	11 名合格	(11 名受検)	100%
・カラーコーディネーター	3 級	18 名合格	(32 名受検)	56%
・NFD フラワーデザイナー	2 級	1 名合格	(1 名受検)	100%
	3 級	5 名合格	(5 名受検)	100%
・ビジネス能力検定	3 級	29 名合格	(33 名受検)	88%

なお、フラワー装飾技能士は、東京都での開催が見送られたため、他県での実施状況を調査して受検させるなどの支援を行った。また、園芸装飾技能士の試験は中止となった。

- 授業の一環として次のコンテストなどに出席した。
 - ・第 58 回技能五輪全国大会(愛知)のフラワー装飾部門に東京都代表として 2 名が出場、内 1 名が敢闘賞を受賞した
 - ・例年実施している「ホテル聚楽」の館内装飾、「三井住友海上火災ビル」の緑地整備を本年度も継続して実施した

以上

令和2年度 新型コロナウイルス感染症に対応した学校の取り組み

- 授業や行事などの日程変更
 - ・授業開始時期の延期、授業時間の短縮
 - 埼玉校：6月1日開始 6月中の授業を短縮とした（通常90分を75分で実施）
また、2度目の緊急事態宣言後も75分授業とした
 - 東京校：5月28日開始 年間を通じて通常90分の授業を80分とした
オンライン授業を導入して対応した
 - ・夏期休業期間の短縮 埼玉校、東京校ともに約2週間と例年の半分以下とした
 - ・インターンシップの短縮 就職に直結する企業実習の期間を短縮した
- 各種行事の縮小や中止
 - ・入学式
 - 例年は来賓や非常勤講師に参列を求めているが、人数を減らして実施した
 - 埼玉校：5月8日 参列：新入生、保護者(学生ごとに1名)、常勤教職員
 - 東京校：5月27日 新入生を2グループに分けて午前と午後で実施
参列：新入生、常勤教職員（保護者へはネットで同時配信）
 - ・学園祭（埼玉校の文花祭） 例年実施している市内の全小学生へのチラシ配布(市教委の協力)を取りやめ、来場者を極力減らして実施した。また、校舎内での催しは中止し、フラワーコーディネートコースのデモンストレーションは前庭で実施してネットで配信した
 - ・研修旅行
 - 埼玉校、東京校ともに、新入生の国内研修旅行を中止した
 - 埼玉校では、タイまたは台湾への研修旅行を中止した（希望者）
 - 東京校では、九州のハウステンボス研修を東京近郊の庭園巡りに変更した（希望者）
 - ・卒業作品展
 - 埼玉校、東京校ともに規模を縮小し、来場者を抑えるような工夫をしつつ実施した
 - 埼玉校：卒業生による作品展示、1年生による進級作品展示
 フラワーコーディネートコース生の競技会(ネット配信として無観客)
 - 東京校：卒業生による作品展示
 1年生の作品展示は中止とし、商品を制作して実習ショップで販売
 - ・卒業式
 - 入学式と同様に来賓や非常勤講師を招待せずに実施した。また、祝賀会は中止した。
 - 東京校：3月12日 参列：卒業生、保護者(学生ごとに1名)、常勤教職員（ネット配信も）
 - 埼玉校：3月13日 参列：卒業生、保護者(学生ごとに1名)、常勤教職員
- 感染予防策
 - ・政府により推奨されている予防策を徹底するように学生指導を行った
このために、消毒液の校内各所への設置、非接触型体温計の導入などを行った
 - ・埼玉校では ~教室での3密を回避するために2号館(長期未使用)の利用を再開した
 ~スクールバスの運行本数を増便した

以上

令和2年度 資金収支計算書

令和2年4月1日から

令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
収入の部			
学生生徒納付金収入	229,289,000	228,297,772	△ 991,228
手数料収入	560,000	434,600	△ 125,400
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	4,074,000	11,968,020	7,894,020
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	10,065,000	11,805,966	1,740,966
受取利息・配当金収入	2,200	16,157	13,957
雑収入	1,395,000	6,242,808	4,847,808
借入金等収入	0	20,000,000	20,000,000
前受金収入	154,100,000	144,300,000	△ 9,800,000
その他の収入	34,759,000	37,548,957	2,789,957
資金収入調整勘定	△ 152,018,000	△ 156,721,640	△ 4,703,640
前年度繰越現金預金	55,799,174	55,799,174	0
収入の部合計	338,025,374	359,691,814	21,666,440
支出の部			
人件費支出	119,660,000	121,760,250	2,100,250
教育研究経費支出	67,835,000	75,632,398	7,797,398
管理経費支出	47,406,000	43,341,230	△ 4,064,770
借入金等利息支出	3,140,000	3,275,418	135,418
借入金等返済支出	11,784,000	8,764,000	△ 3,020,000
施設関係支出	0	471,118	471,118
設備関係支出	1,789,000	5,062,187	3,273,187
その他の支出	56,105,000	60,954,886	4,849,886
資金支出調整勘定	△ 21,454,781	△ 24,776,529	△ 3,321,748
翌年度繰越支払い資金	51,761,155	65,206,856	13,445,701
支出の部合計	338,025,374	359,691,814	21,666,440

令和2年度 事業活動収支計算書

令和2年4月1日から

令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支			
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	229,289,000	228,297,772	△ 991,228
手数料	560,000	434,600	△ 125,400
寄付金	350,000	116,790	△ 233,210
経常費等補助金	4,074,000	11,968,020	7,894,020
付随事業収入	10,065,000	11,805,966	1,740,966
雑収入	1,395,000	6,077,808	4,682,808
教育活動収入計	245,733,000	258,700,956	12,967,956
事業活動支出の部			
人件費	118,560,000	119,625,000	1,065,000
教育研究経費	80,268,000	88,286,521	8,018,521
管理経費	49,021,000	45,316,310	△ 3,704,690
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	247,849,000	253,227,831	5,378,831
教育活動収支差額	△ 2,116,000	5,473,125	7,589,125
教育活動外収支			
事業活動収入の部			
教育活動外収入計	2,200	16,157	13,957
事業活動支出の部			
教育活動外支出計	3,140,000	3,275,418	135,418
教育活動外収支差額	△ 3,137,800	△ 3,259,261	△ 121,461
経常収支差額	△ 5,253,800	2,213,864	7,467,664
特別収支			
事業活動収入の部			
特別収入計	0	0	0
事業活動支出の部			
特別支出計	0	3	3
特別収支差額	0	△ 3	△ 3
基本金組入前当年度収支差額	△ 5,253,800	2,213,861	7,467,661
基本金組入額合計	0	0	0
当年度収支差額	△ 5,253,800	2,213,861	7,467,661
前年度繰越収支差額	△ 707,190,694	△ 707,190,694	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 712,444,494	△ 704,976,833	7,467,661

(参考)

事業活動収入計	245,735,200	258,717,113	12,981,913
事業活動支出計	250,989,000	256,503,252	5,514,252

貸借対照表
令和3年3月31日現在

(単位：円)

資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	526,789,822	535,768,933	△ 8,979,111
有形固定資産	517,217,926	526,981,849	△ 9,763,923
その他の固定資産	9,571,896	8,787,084	784,812
流動資産	100,506,823	89,280,371	11,226,452
資産の部合計	627,296,645	625,049,304	2,247,341

負債の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	135,221,557	125,955,807	9,265,750
流動負債	226,701,144	235,933,414	△ 9,232,270
負債の部合計	361,922,701	361,889,221	33,480

純資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
基本金	970,350,777	970,350,777	0
第1号基本金	970,350,777	970,350,777	0
繰越収支差額	△ 704,976,833	△ 707,190,694	2,213,861
翌年度繰越収支差額	△ 704,976,833	△ 707,190,694	2,213,861
純資産の部合計	265,373,944	263,160,083	2,213,861
負債及び純資産の部合計	627,296,645	625,049,304	2,247,341

財 産 目 録

(令和 3 年 3 月 31 日 現在)

1. 資 産 総 額	金	627,296,645 円
基 本 財 産	金	521,289,822 円
運 用 財 産	金	106,006,823 円
2. 負 債 総 額	金	361,922,701 円
固 定 負 債	金	135,221,557 円
流 動 負 債	金	226,701,144 円
3. 正 味 財 産	金	265,373,944 円

監査報告書

令和3年4月21日

学校法人伊東学園
理事長伊東政信 殿

学校法人伊東学園

監事 石原嘉久 ④

監事 高橋康夫 ④

私たちは、学校法人伊東学園の令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)における会計制度の整備及び運用の状況並びに資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表について監査を行った。

(監査事項)

1. 会計制度の整備及び運用の状況について
 - 監査の結果、私たちは会計制度の整備及び運用の状況は妥当であると認める。
2. 資金収支計算書について
 - ① 資金収支計算書は、学校法人会計基準の定めるところに従って行われている。
 - ② 資金収支計算書の表示方法は、学校法人会計基準の定めるところに従っている。
3. 事業活動収支計算書について
 - ① 事業活動収支計算書は、学校法人会計基準の定めるところに従って行われている。
 - ② 事業活動収支計算書の表示方法は、学校法人会計基準の定めるところに従っている。
4. 貸借対照表について
 - ① すべての資産及び負債は、学校法人会計基準の定めるところに従って正しく計上されている。
 - ② 基本金及び消費収支差額の計上については、学校法人会計基準の定めるところに従って計上されている。
 - ③ 貸借対照表の表示方法は、学校法人会計基準の定めるところに従っている。
5. 学園の事業遂行状況について
 - ① 学園の事業遂行に関しては、園芸業界への有為な人材育成輩出が順調に推移するなど適正に遂行されている。
 - ② 学園の業務・財産の状況、理事の業務執行に関して重大な法令および寄附行為に違反する事実は認められない。

以上

役員名簿

役職	氏名	学内 学外	専任区分	任期
理事長 校長	伊東 政信	学内	6-1-1	令和2年12月17日 ～ 令和4年12月16日
理事	伊東 淑子	学外	6-1-2	令和2年12月17日 ～ 令和4年12月16日
理事	伊東 哲也	学外	6-1-2	令和2年12月17日 ～ 令和4年12月16日
理事	江藤 薫	学外	6-1-3	令和2年12月17日 ～ 令和4年12月16日
理事	村山 忠	学外	6-1-3	令和2年12月17日 ～ 令和4年12月16日

専任区分（寄付行為による規定）

- 6-1-1 テクノ・ホルティ園芸専門学校、東京テクノ・ホルティ園芸専門学校の校長の内、理事会で選任された者
- 6-1-2 評議員の内、評議員会で選任された者
- 6-1-3 学識経験者並びに教育・文化事業を行う者の内から理事会で選任された者